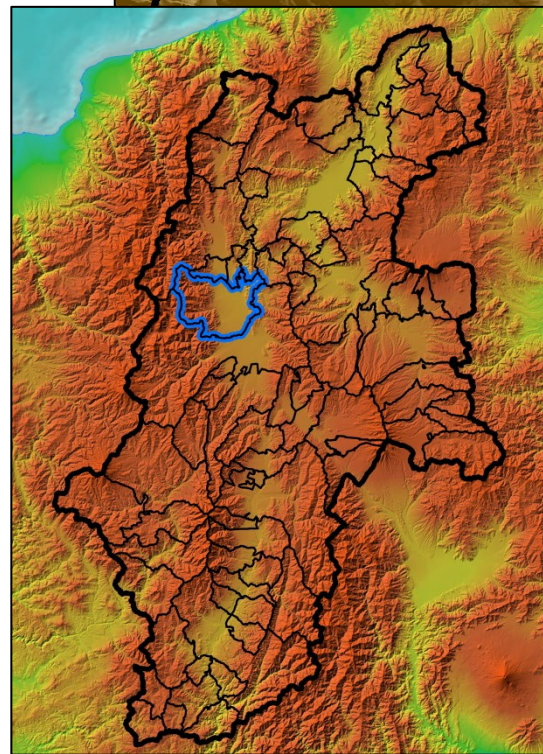
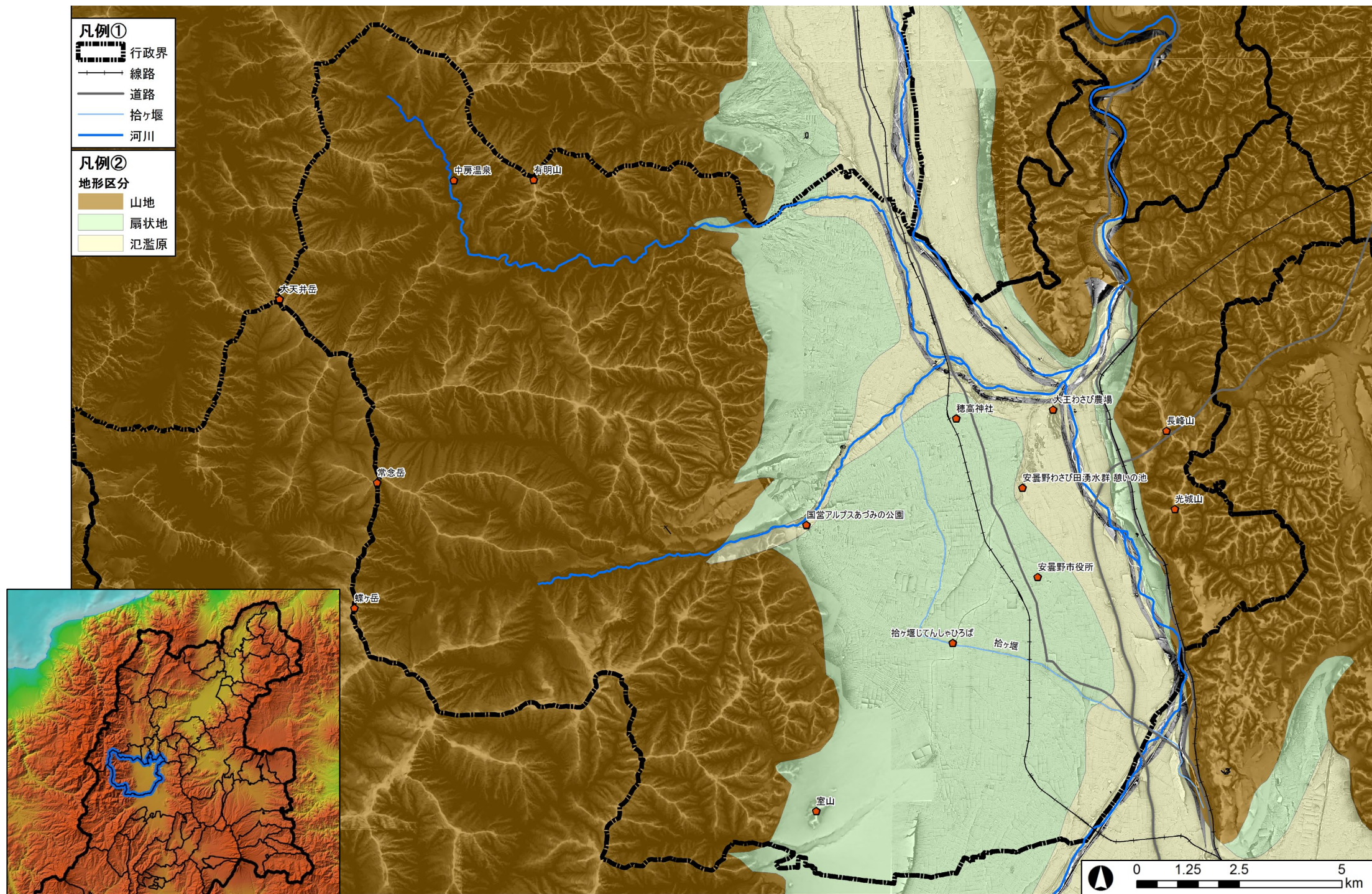


図1：安曇野市の地形（ここでは、みなさんの住む安曇野市の地形について学びましょう。安曇野市の地形にはどんな特徴があるでしょうか？）



氾濫原：河川の氾濫等で運搬された土砂などによって形成された平地。主に砂礫および粘土・シルトで構成されています。

凡例	原典情報
地形区分	20万分の1土地分類基本調査 地形分類図/国土交通省 国土政策局
道路	国土数値情報「緊急輸送道路」2013年度/国土交通省 国土政策局
鉄道	国土地理院「軌道の中心線」/国土地理院
河川	国土数値情報「河川」2007年度/国土交通省 国土政策局
背景	基盤地図情報「数値情報モデル」5mメッシュ(標高)、10mメッシュ(標高)/国土地理院 赤色立体地図 アジア航測(株) ※特許3670274号

- ・安曇野市は、長野県のほぼ中央部に位置し、松本盆地のやや北側に位置します。
- ・安曇野市の西側と東側は「山地」です。
- ・西側の山地は、標高 3,000m 級の峰が連なる北アルプスの東側にあたります。
- ・東側の山地は、筑摩山地の一部である長峰山など標高 700~900m 級の山が南北に連なっています。
- ・安曇野市の盆地の中には、北アルプスから流れ下る烏川や中房川によって作られた「複合扇状地」(烏川扇状地や中房川扇状地が合わさって作られた)と、河川の周りに作られた「氾濫原」が広がっています。
- ・市内を流れる高瀬川、穂高川、犀川は市の北東側で合流し、一本の河川(犀川)になります。この合流点が三川合流と呼ばれています。
- ・合流後の犀川は、日本一の長さを誇る信濃川と合流して新潟まで流れ下っています。
- ・北アルプスの雪解け水、水田や河川から地下に浸透した水は地下水となって地下を流れ、地形的に低い三川合流部で地表へ湧き出しています。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第194号)」

△注意！必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。